



*Sagami Women's University*

# 後援会会報

MAR. 2019 No.48



学園だより ..... 7

地区懇談会のご案内 (予定)  
課外活動奨励賞受賞者一覧  
2019年度学年暦  
2018年度科学研究費助成事業 採択状況

後援会会報四八号  
発行日 2019年3月31日  
発行所 相模女子大学 後援会  
相模女子大学短期大学部  
編集責任者 後援会事業部事務局 (大学事務部学生支援課)  
住所 〒252-0383 相模原市南区文京2-1-1  
電話 042 (742) 2695  
F A X 042 (749) 2300

目次

後援会からのお知らせ ..... 1  
就職活動で感じた事 茂原 小雪  
就職活動について 石井 穂奈美  
就職活動体験 北野 陽奈

会員通信 ..... 5  
毎年楽しみの相生祭 近藤 信和  
世代交代のとき 林 琳樹  
これからも“娘(あなた)の応援団” 齋藤 由希子  
思い掛けない仕合せ 和田 智子

クラブ活動紹介 ..... 6  
今までの活動を振り返って 堀川 葵  
相模女子大学ソフトボール部として 石井 愛美  
平成最後のバグ 今井 咲樹

二〇一八年度秋学期  
就職トピックス

三月一日に解禁となる就職活動にむけて、学生たちは前向きに取り組んでいます。今回は、秋学期に実施した就職活動支援行事の一部をご報告いたします。

一 就職準備講座(秋学期)(対象:大学三年生、短期大学部一年生)  
十月四日から十二月二〇日までの毎週木曜日、「就職準備講座」を実施しました。初回は就職試験でも使われる「一般常識テスト」を実際に行い、現在の自分の実力を再確認して貰いました。その後、自己分析講座や業界研究講座、履歴書・エントリーシート講座、ビジネスマナー・メイク・スーツの着こなし方、面接・グループディスカッション対策講座といった就職活動で必ず役立つ講座のほか、相模鉄道や加賀屋、横浜信用金庫、エムサービス、日清医療食品など多くの企業の採用担当者にお越し頂き、業界の特徴や企業の魅力を発見できるイベント「企業研究会」を行いました。

生を対象に、一人ひとりの学生と向き合うこの面談は本学の大きな特色です。  
また、学科担当者のほかに三名のキャリアカウンセラーが常駐しており、これから始まる就職活動の悩み相談から履歴書やエントリーシートの書き方、模擬面接、ビジネスメイクまで個別指導を行っています。  
三 ビジネス実務マナー技能検定(対象:全学科全学年)  
十一月十八日(日)、学内にて「ビジネス実務マナー技能検定」を実施し、二級・三級を併せて二四七名の学生が受験しました。

十二月一日(土)～二日(日)、専修大学伊勢原セミナーハウスをお借りして実施した「就職合宿」には四六名の学生が参加し、より実践的な講座を受講しました。  
模擬面接は、企業等で面接官をご経験された方八名に学外からお越し頂いて実施しました。学生たちは何度も繰り返し行ううちに、緊張しながらも少しずつ自分らしく話ができるようになっていきました。また、寝食を共にし、同じ悩みを仲間と共有することで、就職活動に対する不安が少し緩和された様子でした。

二 面談(対象:大学三年生、短期大学部一年生)  
十一月より学科担当者との「個別面談」を実施しました。(子ども教育学科のみ一月より実施)全学



四 就職合宿(対象:大学三年生)  
二月十八日(月)、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタにてディズニアカデミーを実施しました。東京ディズニーリゾートのテーマパークビジネスを支えてきた「ディズニーマスター」のホスピタリティマインド(おもてなしの心)を、ディズニーマスターの世界観を体験しながら心と身体で学ぶことができるこのプログラムは、キャリア形成支援の一環として二年前から実施しています。今年度も多くの学生が、コミュニケーションスキルを向上させるために参加しました。  
(就職支援課・澤藤桂)

後援会からのお知らせ

二〇一八年度事業報告

一. 役員会

一、常任理事会  
日時 二〇一八年九月二十九日(土)  
九時三〇分～十時一〇分

議事

- (一)相生祭について
- (二)就職に関する懇談会について
- (三)クリスマス企画について
- (四)卒業記念品について
- (五)後援会諸規程の件
- (六)後援会定期総会のアンケート結果の件
- (七)防災セットについて

日時 二〇一九年二月十六日(土)  
九時三〇分～十時三七分

議事

- (一)二〇一八年度事業報告(案)について
- (二)二〇一八年度予算執行状況について
- (三)二〇一九年度事業計画(案)について
- (四)二〇一九年度概算予算案について

二、理事会  
日時 二〇一八年九月二十九日(土)  
十時三〇分～十二時一〇分

議事

- (一)相生祭について
- (二)就職に関する懇談会について
- (三)クリスマス企画について
- (四)卒業記念品について
- (五)後援会諸規程の件
- (六)後援会定期総会のアンケート結果の件
- (七)防災セットについて

日時 二〇一九年二月十六日(土)  
十時四三分～十二時十五分

議事

- (一)二〇一八年度事業報告(案)について
- (二)二〇一八年度予算執行状況について
- (三)二〇一九年度事業計画(案)について
- (四)二〇一九年度概算予算案について

二. 就職に関する懇談会

二〇一八年十一月十七日(土)、相模女子大学三号館三二四教室他において、大学および短期大学の保証人を対象に、「就職に関する懇談会」を開催し、二〇六名の参加がありました。  
本田後援会会長、風間学長の挨拶に続き、キャリアカウンセラーの林かほる氏により「就職活動に

おける親の関わり方」チャレンジを応援する」と題して、講演が行われました。  
昼食後、第二部では企業に内定した学生三名より「就職活動を体験して」の報告(一～四頁に掲載)、および澤藤就職支援課長より「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」の報告が行われました。その後、会場を七号館に移し、参加者が学科毎に分かれて、就職が内定している同学科の学生を交えての「就職活動懇談会」が行われました。就職が決まった学生のほか、キャリア委員を務める教員、就職支援課職員も参加し、会員からの様々な質問に答える場となり、活発な意見交換がなされました。

また、就職支援課職員による「個別就職相談」も行われました。終了後のアンケートには、「初めて参加しましたが、とても参考になりました」と、「親が学生の頃とは大きく違うため、学生たちの体験談は参考になりました」といった感想も寄せられました。いただいた意見を参考にしながら、来年度の開催に向けて検討していきます。

報告

就職活動で感じた事

学芸学部日本語日本文学科四年生 茂原 小雪

私は二年生の春休みから就職活動を始めました。その頃から、友人との会話に「就職」という単語が頻繁に出るようになり、私は何をすべきか分からず不安で一杯でした。そこで、まず行動しようと思いインターンシップや合同説明会に参加しました。

私の志望は金融業界でしたが、他の業界も見るように心掛けました。興味のなかった業界も、説明会やインターンシップに参加すると、興味を持てたり、人が温かくて働きやすそうだったり、福利厚生が手厚かったり、様々な発見がありました。また、志望している業界が本当に自分に合っているかの確認にもなりました。

私は、三年生の間に興味が湧いた会社のインターンシップや説明会に参加して企業を見た結果、信用金庫を第一志望にし、他に気になった会社を含め、十社ほど受けとみることにしました。

私は、主に信用金庫や地方銀行を受けていたのですが、同じ地域の金融でも社内の雰囲気は違いました。説明会では同じような雰囲気でも、支店見学をすると違いがよく分かりました。もし、金融業界を志望している方がいらっしゃいましたら、支店見学は絶対にした

ほうが良いと思います。また、支店見学をしたいと人事の方に伺うと、連絡せず近くに来た時に見学して良いといわれることがあるのですが、そのように言われても見学の前に、支店に確認の電話を掛けた方がいいと思います。実際、私もその言葉通り見学に行ってしまったことがありますが、少し迷惑そうな顔をされてしまったので、いやな言い方でもしたほうが安全だと思えます。それに、忙しい時に行くと思惑をかけるしまう恐れもありますし、時間の関係で質問ができない可能性もあります。できる限り礼儀正しくしておくほうが、印象が良いと思いますし、自分も安心できると思います。

面接で印象は大事なものです。私が受けた信用金庫にアルバイト先の先輩が入社しており、面接などの対策でお話を伺った際も、「面接では印象が大事だから、笑顔や話し方に気を付けた方がいい」と教えてくださいました。人に良い印象を与えることは、お客様から財産を預かる金融業界において大事な要素だという事を改めて学びました。

「印象」といえば、面接をしていて私の企業側への印象が変わることもありました。これはある会社を受けていた時に感じたことです。私のその会社への志望度は高く、インターンシップに二回参加し、合同説明会や支店見学もして、人事の方とも仲良くなりました。

当初、私はこの会社は人も温かく、働きやすそうな印象を持っていま

した。しかし見学をした際、言葉には上手くできないのですが、人の雰囲気は合わないかもしれないと感じました。ですが、支店はほかにたくさんありますし、数時間決めてくれるのはよくないと、面接を受けることにしました。一次面接は、集団面接でした。その時の面接官が、一緒に面接を受けていた一人の方の趣味に関して小馬鹿にするような態度をとったり、選考に関係がないような質問をしたりしたため、その企業の印象ががらりと悪くなってしまいました。面接の帰り道、もし受かったとしても辞退しようか悩みましたが、仲良く働けた人事の方はいい人ですし、その会社は私の就職で求めている条件にも合致しており、大勢の人がいる会社なのだから色々な人がいるだろうと気持ちを片付けました。そして、後日、人事の方から次の面接へ来られるかとの電話が来ました。しかし、指定された日が他の企業との面接日と重なっており、その企業は面接日を一度ずらしていただいた日程のため、事情を話した日程は検討できないか伺いました。人事の方には日程を確認し次第、連絡するといわれましたが電話が来ることはありませんでした。その後、同じく志望度が高い会社から内定をいただいたので、辞退した方がいいと思いい連絡をしようとしたら、メールで

一次面接不合格の通知が届いていました。

この経験から私は、少しでも嫌だなと感じたら無理をして選考に進まずに辞退してもよいと思いました。今回の私は、志望度が高かったなどの理由で、不自信が募っていたにもかかわらず、そのまま選考に進もうとして、後味の悪い結果となってしまいました。しかし、少しでも不快に感じることはありません。内定をいただいても辞退する確率は高いと思います。無理をして選考に参加せず、どんなに良い会社と思っても印象が変わり次第、検討し直したほうが良いと思います。

その後、私は信用金庫のシステム管理をしている会社に入社することに決め、六月の後半に就職活動を終えました。この会社とは、信用金庫を中心に就職活動を進めている中で出会いました。仕事内容に興味を持ち説明会に参加した結果、離職者の低さや福利厚生の高さなど惹かれるところが多く、選考を受けてみようと思いました。その後、内定をいただき、最終的にこの会社に入社を決めた理由は、人の好きです。面接時、何人かの人事の方とお会いしましたが、どの方も私の目をみて会話をしてくれました。また、私の質問への答えも、このような意味でよいか確認しながら、面接官と私の認識がずれないように配慮してくれるところにとっても温かみを感じました。以

上のような事から、働きやすい環境なのだろうと感じ、この会社に入社することを決めました。

今回、就職活動での経験で感じた事をお話してきましたが、これは私が感じたことで、人それぞれ思うことは違うと思います。その為、保護者の皆様には、お子様とお話をしてほしいです。就活生としては、面接の手ごたえなど細かいことはあまり訊かれたくはないのですが、私は母に面接の前や後に、何の根拠もないのに「大丈夫、何とかなる」と言ってもらえるのが心強くて、嬉しかったのを覚えています。面接の前後など、気持ち不安定になりやすい時期は、無条件に背中を押してもらいたいのですが、やはり就職活動の条件として、地元を離れて一人暮らしをすることも視野に入れていいのかなどは、事前に確認したほうが良いと思います。内定が決まった後に、お互いの認識の違いなどが判明して、そこから内定を辞退して別の会社を受けるという事態になるのはもったいないです。就職活動が本格的に始まる前に、一度話をして、お互いの認識に差がないかの確認を見て欲しいと思います。

#### 就職活動について

人間社会学部人間心理学科四年

石井 穂奈美

私が就職活動を意識し始めたのは、三年生の夏前に、学内で募集されたインターンシップの案内が出

かったので、就職支援課で私の就活状況を理解してくれている方がいるというのは心強さがとてもありました。このように、手厚い支援があったからこそ、今の私がいると思います。

最後に、「ご家族の方へお願いしたいことは、何があっても否定をしないでほしいということ。企業から不採用通知をもらった時は、ショックから自分を否定されたくない気持ちに、どうしてもなってしまう。」「こういうところが良くなかったんじゃないの？」などの、なにげない一言でも、本人にはかなり重く、心に刺さります。アドバイスを励ましの言葉をかけてよりも、お子様が自ら口を開くときを待って、ただ話を聞いてあげてください。きっと本人は、答えや改善策を求めているわけではなく、気持ちを言葉にすることで、現状の心の整理をつけたいだけだと思うからです。私自身は、落ち込んだら家族に愚痴を聞いてもらう程度で、全く干渉などはされませんでした。いつも通りの家族でいてくれたからこそ、焦らずに就職活動に挑めたように思います。

また、私がスーツを着て準備をしていると、いつも母が「今日はどちらまで？」と質問してきました。自宅から遠い企業に行くときは、交通費を渡してくれるなど、金銭的な援助もしてくれました。自分からはお願いしにくいことも、察

した頃です。インターンシップに参加する意味や意義については、頭では分かっていたものの、行動には移せずにいました。ですが、その学内募集のインターンシップ選考が通ってからは、自分の中でもエンジンがかかり、就職支援サイトや企業のホームページから自発的に応募するようになりました。その結果、三年生の八月から二月まで、合計八社のインターンシップに参加しました。日数は一日、一週間など様々で、業界は商社や不動産、アパレル、金融、メーカーなど幅広く見ました。また、インターンシップに参加したことにより、他大学の学生との交流や、グループディスカッションの場が多くあったので、会話のコツを掴めるようになりました。

それと並行して行っていたのが、SPIなどに向けての筆記試験の勉強と、毎週キャリアアカウンセラーの先生の所へ通い、自己分析やエントリーシートの作成をしていました。筆記試験の勉強は、一冊一〇〇〇円前後の価格帯の本を三冊ほど購入し、ひたすら問題を解いていました。ここでは、計算などの非言語を集中して勉強しました。この時期に、準備を行っていたおかげで、選考もスムーズに進んだように思います。

そして、企業へのエントリーや説明会など、実際に選考を受け始めたのは三月に入ってからでした。面接では、学生時代に頑張ったこ

学内で行われた合同企業説明会と栄養士セミナーに参加しました。その後、学外の臨地実習で病院に実習させて頂いたことをきっかけに直営の病院や施設で働きたいと考え始めました。私がエントリーし、企業の個別説明会に参加したのは十二社。その内選考に進んだのは九社。二次選考(最終選考)辞退したのは四社。内定を頂いたのは三社でした。最終的に私は地元の御殿場市にある整形外科病院の栄養科に入社する予定です。

私は、人々の食と健康を支え食事で幸福感を与えることができ、管理栄養士の資格を活かせる業界に絞って就職活動をしていました。きっかけは、高校時代に進路を決める時から食べることが好きで管理栄養士という職業に興味を持ったからです。その気持ちは、大学生になって勉強を始めてから就職活動をする時期まで変わりませんでした。

このような業界を志望した理由の一つ目は、食事を通して人の健康に関わることができる仕事であること。二つ目は、大学生活四年間で勉強してきたことを現場で活かすことができるということです。

会社選びにあたり重視していたことは、管理栄養士の資格をどのように活かして成長していけるか。会社の雰囲気。勤務地でした。インターンシップに参加し、先輩社員の方に仕事内容やキャリアアップについてお話を伺いすることでイメージ

とや、困難を乗り越えた経験、この会社でやりたいことなど、回答を準備していた質問がほとんどでした。ですが、準備しなかった中で意外に多かったのが、成績表を見て人事の方から訊かれた授業内容について答えるという質問です。

GPAという成績の平均評価点のみならず、授業の詳細まで訊かれたことには焦りました。特に一年生の頃の授業などは詳細に答えることができず、人事の方に苦い顔をされたこともありました。この悔しい経験から、これまで受けてきた授業のノートなどを見返して、全て振り返ることもしました。こうして、反省を次に活かすという事を意識していった結果、面接は回を重ねることに自信が付き、面接に慣れてきた六月中は内々定を頂けることも増えました。

次に、私が会社選びの中で重視したことは、会社の雰囲気です。マインビヤリクナビなどのサイトを見て、少しでも気になった企業の説明会には参加し、自分の目で見て、会社の雰囲気を知ろうと、行動しました。また、インターンシップや説明会に、先輩社員の方々が来てくださる会社が多かったため、本当に聞きたいことはそこで質問していました。また人事の方でも、学生に話しやすい雰囲気を作ってくださいる方は、社員の方々も大切にしているのだろうと考えていたので、重視していました。

次に、大学の就職支援について

お話させていただきます。私が就職支援課を初めて利用したのは、大学一年生の冬頃でした。この頃から、なんとなく過ぎていく学生生活と就職に向けての不安を抱えていました。ですが、ここで相談に行ったことをきっかけに、相模女子大学は、学生に対して様々な学びのチャンスを提供してくれているということに気づくことができました。そこから、私はボランティアに参加したり、地元企業の方々に事業提案のプレゼンテーションを行うなど、様々な経験をしました。当手を振り返って感じることは、大学生の今だからチャレンジできることというのは、後々の就職活動に対するかなりの強みになって返ってくるということです。アルバイトでは得られない経験が本当にたくさんありました。

お話させていただきます。

私が就職支援課を初めて利用したのは、大学一年生の冬頃でした。この頃から、なんとなく過ぎていく学生生活と就職に向けての不安を抱えていました。ですが、ここで相談に行ったことをきっかけに、相模女子大学は、学生に対して様々な学びのチャンスを提供してくれているということに気づくことができました。そこから、私はボランティアに参加したり、地元企業の方々に事業提案のプレゼンテーションを行うなど、様々な経験をしました。当手を振り返って感じることは、大学生の今だからチャレンジできることというのは、後々の就職活動に対するかなりの強みになって返ってくるということです。アルバイトでは得られない経験が本当にたくさんありました。

そして三年生になると、初めてお話させていただいたように、就職支援課から様々な企業のインターンシップ案内が届くようになりました。他にも、筆記試験対策の講座が開かれました。また、学内合同企業説明会も多くあり、実際に私自身もそこで企業さんとの出会いがたくさんありました。そしてなにより、キャリアアカウンセラーの先生には、自己分析からエントリーシートの添削まで、みっちり時間を割いていただきました。また、私は両親に就職活動の状況をあまり詳細に話していな

病院と老人ホームのどちらかに辞退の連絡をしなければならなかったため、有り難いお話なのですが自分の気持ちを整理するのに時間がかかりました。これは、自分自身の志望度や求人とのタイミングが関わることです。就職活動をしていく内に気持ちもすくく変わっていくます。自分の将来がどうなるのか悩む時期もありました。

自分が頑張れたポイントには、友達や家族が話を聞いて応援してくれたこと。インターンシップや選考で他大学の友達ができたこと。就職活動の帰りにお買い物や外食をすることなどがあります。

就職活動で、大切にしていたことは、自信を持つことです。私は、面接用の文章はワードでまとめ印刷したものをファイルに入れて持ち歩いていました。会社のことを事前に調べ、どのようなところに共感でき、働きたいと思ったのかは会社ごとに異なります。しかし、就職活動をしていくにあたっての自分の軸は変わらないようにしていました。さらに、面接は毎回緊張していましたが、自分の意見をしっかりと伝えるように練習をしていたので、自信をもって臨むようにしていました。挨拶や笑顔、大きな声で元気よく話すことは常に心掛けていました。また、面接が終わった後は、どのような質問をされて自分がどのように答えたのか、集団面接の時に一緒に受けていた人の中で参考にしたいと思ったことは、メモを取るようになっていました。これは、メモを取るようになっていました。

ていました。これは、自分の考えを整理することや他の会社での面接時に役立つと思えました。

やっておいてよかったことは、夏や冬のインターンシップで業界を知ることに、就職準備講座や就職支援課の活用などを通して自己分析です。早めに取り組み環境があったのでよかったです。もともと早くからやっておけばよかったことは、SPIと専門分野(管理栄養士)の勉強です。

就職支援課では本当にお世話になり、就職準備講座、学内合同企業説明会、栄養士セミナー、OGカフェに参加し、とても役に立ちました。三年生の十一月から月に数回キャリアカウンセラーとの面談を通してアドバイスをいただきました。

最後に、ご家族の方へのお願いです。就職活動について相談したいことがある場合は、自分から話すので聞いてくれるだけで助かります。エントリーシートや自己PRは、日常生活を踏まえてどんなことを書いたらいいか、少しアドバイスをしてほしいです。就職活動の時期でも、普段と変わらずに接して、おいしい朝ご飯やお弁当、夜ご飯の用意をして帰りを待っていてくれるのがとても嬉しいです。内定が決まった時は、一緒に喜んでくれたので家族の支えもあって乗り越えることができましたと思えました。

## 会員通信

### 毎年来しみの相生祭

人間社会学部人間心理学科四年父母  
近藤 信和  
毎年十一月初めの相生祭を楽しみにしています。

学生の皆さんの趣向を凝らした展示物を見たり、教室を訪ねると元気に「ありがと〜ございます」と声をかけてくれたり、楽しいです。食品パッケージをどうしたらよいか提案すると、後日その通りになっっているのを見ることができました。

バザーも楽しみで、家族とついでたくさん買ってしまいます。でも収益は学校のためになると聞きました。掘り出し物を手に入れることもできます。母親はかわいい小さなバッグを手に入れ、最近の外出はいつもそのバッグです。めったにできないことを体験できるのも楽しいです。筆跡鑑定占いや写経も面白いです。まっすぐ書くなど、幸運が訪れる字の書き方を教えてくれます。一人五〇〇円だったと思いますが、車椅子基金に寄付されると聞きました。

アーチェリーや和弓も体験でき、面白いです。学生さんが親切に教えてくれるので、大人も子どもも体験できます。アーチェリーは矢を弓の左におき、和弓は矢を弓の右におきます。どちらも腕の力だけでなく胸を張って、静かにねら

### 三、相生祭への参加

二〇一八年十一月三日(祝)、学園祭(相生祭)初日に後援会として参加しました。七号館ラウンジにおいて「健康促進コーナー」を出展、食物栄養学科の先生方と有志による学生たちのご協力を得て、「アンチエイジング 健康チェック」をテーマに開催しました。血圧・握力等を測定できる健康測定コーナーを設けました。約一六〇名の方にご来場いただきました。

### 四、「音楽で彩るクリスマス」コンサートを開催しました

二〇一八年十二月十三日(木)、夢をかなえるセンター二階カフェテリア101において、「音楽で彩るクリスマス」コンサートを開催しました。毎年恒例となっている後援会主催のクリスマスイベントで、本学学生クラブの奏弦華・吹奏楽部・マンドリンクラブによる演奏が行われました。学生の皆さんは食事を楽しみながら、「ジングルベル」や「きよしこの夜」など、約六曲のクリスマスマソングの生演奏に聴き入っていました。また、後援会役員からは、来場した学生たちにチョコレートのクリスマスプレゼントが配られ、学生たちは大変喜んでいました。



### 相模女子大学 相模女子大学短期大学部 に対する援助

後援会図書館購入助成費取扱要項に基づき図書を購入し、大学附属図書館に設置しました。

### 学生の福利厚生の実現を図る

クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。卒業式当日、卒業生一人ひとりに本学の花・マーガレットをあしらったネックレスを贈りました。また、卒業式終了後に卒業記念パーティを開催し、その経費を助成しました。

### 学生の課外活動の充実と活性化を図る

クラブ、委員会活動に必要な用品の購入を助成しました。学生の課外活動における顕著な活動を表彰する

### 相生祭等、学生の自主的活動を援助する

学園祭(相生祭)の所要経費の一部を補助しました。

### 学生の就職活動を支援する

就職を取り巻く状況の変化、情勢の変革に学生が対応できるように各種の講座やイベントを開催しており、その経費を助成しました。

- ・職業適性検査
- ・SPI模擬試験
- ・ビジネス実務マナー技能検定
- ・就職ガイドブック
- ・自己PR講座
- ・就職合宿
- ・PROG解説会 等

### 地域連携助成費

本学が取り組んでいる地域連携に自主的に参加している学生や団体に対し、活動にかかる費用の一部を助成しました。

### 刊行物

会報四七号を九月に発行し、会員に送付、関係者に配付しました。

### 給付奨学金

経済的な理由により修学が困難な者に対し、学業を継続させることを目的として、原則として在学中一回に限り、授業料相当額の半額の奨学金を給付します。今年度は大学十五名、短期大学部三名に、それぞれ奨学金を支給しました。

### 災害対策助成

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のために「非常用防災セット」を購入しました。

います。的になっていく風船にあたり、風船はバーンと大きな音を立てて割れ、矢は板に突き刺さります。ほかの人の体験を見ていると、矢は非常によく飛びます。

構内の桜並木や、戦前の陸軍通信学校時代の建物、当時のフランス庭園などを見るのも楽しいです。娘が大学を卒業しても相生祭に来続けたいと思います。

### 世代交代のとき

栄養科学部健康栄養学科三年父母

林 琳樹

昨年、我が家は世代交代の一年間でした。父を亡くし、長女が就職して家を離れ、母が老人ホームに入居し、そして、次女が就職活動の時期を迎えようとしています。猛烈な台風がいくつも日本列島を襲った年でしたが、我が家も嵐のような一年でした。

そんな荒れ模様の我が家で、次女だけは台風の目のように静かです。次々に訪れる大きな出来事に私も夫もあたふたとしている中、彼女だけは泰然自若としており、一人留守を預かり、連絡係を果たし、心のこもった晩御飯を用意してくれました。

私の両親の大事のときは、それはそれで頼もしかったのですが、今度は次女本人の番です。一向に就職希望先を決めた様子もありません。ついつい「大丈夫なの？ちゃんと考えてるの？」と口にしてしまっています。その返事もまたのんびり

りしたもので、親の方があせりを覚えてしまいます。

思えば、次女は幼少の頃からマイペースでした。保育園のかけっこで「よいいどん」の掛け声がかかっても、他のお友達が走り出すのを見届けてから、走り始める子でした。小学生の頃も、周りのことはよく観察していて、父が新聞を取り上げるとすかさずメガネを差し出すことができます。一方で、夏休みの宿題や図工の作品を提出するのはいつもクラスで最後でした。高校や大学の志望校を決めるのも最後の最後でしたが、自分がここと決めたところに進学することができました。

こうして振り返ってみると、未だに就職活動らしい行動を起こさない娘は、そういう子だったんだ、最後の最後だけ、ちゃんと本人にとってベストな進路を進んで来たんだということに気付きました。「この子は大器晩成だから」という父の声が聞こえたような気がします。ときが来れば、きっと父が背中を押してくれるのではないかしら。こんな娘ですが、大学の先生方、スタッフの皆様、どうぞご支援頂けますようよろしくお願い申し上げます。

### これからも、娘(あなた)の応援団

学芸学部メディア情報科二年父母  
齋藤 由希子  
のんびり屋で口数の少ない娘が

弔慰  
会員のご不幸は、大学五名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 定期総会開催のご案内

二〇一九年度定期総会を左記の日程で開催予定です。当日は定期総会終了後に教育個別面談等の企画も予定しておりますので多くの会員の参加をお待ちしております。会員の皆様には後日、詳細をご連絡いたします。

日時 二〇一九年六月十五日(土)  
(予定)  
場所 相模女子大学

### ホームページを「ご利用ください！」

会員の皆様と後援会をつなぐパイの一つになればと思っております。よろしく願いたします。

URL  
http://www.sagamiv-u.ac.jp/  
/guideline/kouenkai/



「帰る場所があるから出ていけ」：かなり前に流れていたあるテレビコマーシャルにそんなセリフがあったなど、ふと思いついた。娘が安心して休息をとり、心と身体にしっかりとチカラをチャージして、再び次へ力強く踏み出して行けるように、親として寄り添い応援しようと思います。『娘よ、大丈夫、一緒に頑張ろう！』

### 思い掛けない仕合せ

学芸学部生活デザイン学科一年父母  
和田智子

昨年夏の初め、娘の用件で赴いた市役所で私は「市民大学」の小冊子を、如何でしょうと渡されたのです。

そのような機会があるのなら、と選んだ講座が相模女子大学で開かれていました。

構内に入りますと、緑の芝生に白い山羊という牧歌的な風景。学生さん方の平和的な様子。学内の空気の、何と学びの庭に相応しいことでしょう。

受講中に「さがみ学びの会」のご案内があり、早速入会致しました。現在も、「さがみアカデミー」に通っています。

そう遠くない距離に、とても良い所を見つけたというわけです。昨年度娘は高校三年生。彼女は何事にも勝って描画を得手としており、意匠を凝らした物も上手に拵えます。

広報に依ると「学芸学部」にある「生活デザイン学科」という其処では、彼女の希望進路に合う学業を修める事ができるのでは。進学先の選択肢に加えてみては、と一考を促しました。

その後オープンキャンパスの模擬授業に二度参加したのですが、何の心得も無い私が拝見しても、確かな内容でした。本人も積極的に制作にあたり、心が傾いたようでした。

相生祭では入部したいサークルが見つかったということです。今は一年生の秋学期。高校の頃と相変わらず常に画材を携え、課題の提出期限の他に、部誌などの創作活動の締め切りを抱えて日々を送っています。

その衣服に顔料が着くのも気にかけない姿を、微笑ましく思うのです。

### クラブ活動紹介

#### 今までの活動を振り返って

吹奏楽部長 人間社会学部心理学科三年

堀川葵

私たち吹奏楽部は、神奈川県工科大学 吹奏楽部と合同で「AKASHAWINDENSEMBLE」という団体名で活動しています。部員数は両校合わせて四〇人ほどで、主に土曜日と日曜日に練習を行っています。今年度は、昨年以上にたくさん

の演奏機会をいただきました。学内では、カフェテリア101にてクリスマスコンサートを行い、オープンキャンパスでは来場された高校生に向けて演奏で歓迎をしました。他にも毎年行われている相生祭のパレード演奏にも参加しました。

学外では、定期演奏会や神奈川県工科大学の卒：入学式や学園祭、加えて今年度は野球応援や地域のお祭りなどにも演奏依頼をいただき、新たな活躍の場を広げることができました。今回は、特に印象に残っている二つの行事についてお話ししたいと思います。

一つ目は、相模女子大学入学式での演奏です。今年は、ダンス部とチアリーディング部、舞踏研究部と合同でステージを行いました。

入学式を盛り上げ、新入生を歓迎すると同時に、部活動をアピールできる良い機会にもなりました。そのお陰で見学者や入部希望者が増え、今年度は昨年よりも多く新入部員を迎えることができました。

二つ目は、相模女子大学マーガレットコンサートです。二〇一七年十二月二四日に初めて中等部

の吹奏楽部と合同で演奏会を行いました。普段関わることのない中高生との演奏は、お互い刺激し合える良い機会となりました。当日は吹奏楽部以外にも、高等部のバトントワリング部による演技や大学のフラワーアレンジメントクラブによる作品展示など、盛りだくさんの内容を来場された六〇〇

人以上の方に楽しんでいただきました。今後も、学内だけでなく地域一般の方々にも吹奏楽を聴いていただける機会を増やし、たくさんの方に吹奏楽の魅力を知ってもらえるよう、これからも活動に励んでいきたいと思っております。



### 相模女子大学ソフトボール部として

ソフトボール部部長 学芸学部子ども教育学科三年

石井愛美

先ず始めに、日頃から後援会の皆様には、ご支援をいただき誠に感謝申し上げます。

一昨年度に助成金をいただき、ユニフォームを新調させていただきました。今年度は、ルール改正もあり、助成金でバットを購入させていただきました。今年度は、ユニフォームを新調させていただきました。私たちの活動のために後援会の皆様にご支援をいただき選手一同、感謝しています。

私たちは、十年ぶりに春季関東学生選手権大会に出場いたしました。

た。結果は、残念ながら初戦敗退という形になってしまいました。日頃の練習の成果と自分たちの実力を知る大会となり、新たな目標ができた大会でもありました。

また、地域連携先の福島県本宮市で夏合宿を行っています。本宮市での合宿は六年目となり、練習場や宿舍などを本宮市から無償で提供していただいています。本宮市長も多忙の中、グラウンドに足を運んでいただきご声援をいただいています。合宿中も現地のチームと試合を行っています。本宮市の職員さんからも新しいユニフォームが「強そうだよ」と言っていた。五月には大会が始まりますが、これまで二つことと練習に取り組んできたことを思い出し、一つでも多く勝利ができるよう頑張りたいと思っております。

そして、監督から日々言われていることですが勝利だけではなく「学生の手本となれ」をスローガン

とし、組織力や大人としてのマナーなどを日頃の練習・合宿などで養い、全学生から目標とされる部を目指しています。

後援会の皆様の支援を励みに、選手一同、頑張っています。いままも、今後とも、ご支援の程よろしくお願いたしします。



### 平成最後のバグ

フットサル部部長 栄養科学部健康栄養学科三年

今井咲樹

後援会には、日頃から支援いただきましてありがとうございます。

私達フットサル部のチーム名は「Parigrit(パリグリット。通称：バグ)」。本学の花「マーガレット」の英語(Paris Daisy)と仏語(Marguerite)をもじって命名したものです。外部コーチや他大学、社会人チームなど、多くの方々にご協力いただき、連携させていただきながら楽しく活動をしています。女子のフットサルリーグにも所属し、刺激を受けつつ、楽しくも少し結果も気しながら毎日の練習に励んでいます。

二〇一八年度は、四年生三人、三

年生五人、二年生十二人に新入生八人を迎え、計二十八名でスタートしました。部活をとりまとめるのは代々二年生の役目で、活動予定や練習メニューを考えて運営するのですが、現二年生にはサッカー経験者がおらず、とても不安な船出となりました。そんな中でも部をまとめていこうと試行錯誤しつつ、先輩方が繋いでくださった他大学や社会人チームとの合同練習や試合を通して、チーム自身で気づき、アドバイスをいただきながら、こまめな練習を行うことができました。

恒例の夏合宿では、先輩後輩みんなの協力を得て、全員で二泊三日の練習をやり遂げることができました。練習外では学年間の交流も多く、とても充実した夏合宿となりました。

十月上旬には、今年度初の対外試合を行いました。六人という少ない参加人数で四試合を行い、三敗一分けという結果でした。以前は何とか試合をやりきることで一杯でしたが、年々フットサルの知識や技術を身に付け、格上のチームから得点することができるようになってきました。得点したらみんな喜び、もつと取りたい、勝ちたいと思えるようになってきました。

そして、十月中旬、社会人フットサルチームの監督をし、自らもプレイヤーとして活躍されている方をコーチに迎え、月に一回程度の

指導をしていただけることになりました。このような機会には私たちがのような未経験者が多いチームにとってはとてもありがたいことであり、日々の練習に益々力が入っています。

次年度もこのような体制を継続できるように後輩たちに引き継ぎ、経験者揃いの頼もしい後輩たちには、他大学や社会人のチームと常々いい勝負ができるようなチームをつくってほしいです。そのため、そのためのサポートを私たちがしていきたいと思っております。



### 学園だより

#### 第九回相模女子大学書初め展を開催しました

一月三十日

(水)～二月三日(日)まで、

相模大野ギヤラリーにて

「第九回相模女子大学書初め展」が開催

されました。小学部、中学部、高等



部：大学：一般参加の部が設けられ、たくさんの方の応募をいただきました。二月二日(土)には受賞者が一堂に会す中、七号館七二二教室にて表彰式が執り行われました。

【第九回相模女子大学書初め展受賞者】後援会長賞学芸学部日語日本文学科三年 木村美桜 学長賞学芸学部日語日本文学科三年 林蘭愛 書初め準大賞学芸学部日語日本文学科三年 大竹奈津美

#### 生涯学習事業のご案内

お子様の通うキャンパスで、学生気分を味わってみませんか？公開講座「さがみアカデミー」では、長い歴史を持つ本学の伝統と特質を活かした様々な講座を開講。他にも相模原市、座間市共催の「市民大学」、大学の授業を聴講できる制度「まなびのパスポート」など、多くの方が生涯にわたり学習できる場をご用意しております。詳細は大学HP内「生涯学習」または生涯学習支援課へ。 URL: <http://www.sagami-wu.ac.jp/ lifelong/>

#### 地区懇談会のご案内

二〇一九年度は、静岡地区・沼津市・信州地区・長野市・新潟地区・長岡市での開催を予定しております。開催地区の会員の皆様には、開催日が近づきましたらご案内をお送りいたします。ぜひお越しください。

### ☎電話番号案内☎

学生生活に直結する主な部署の電話番号は次のとおりです。何かありましたら、お気軽にお問い合わせください。

大学事務部 教務課 ○四二・八二一・五〇六九

授業、試験、成績、休学、復学、退学等、学業全般に亘る事務を担当しています。

学生支援課 ○四二・七四二・二六五八

課外活動、奨学金、アパートの紹介等、学生生活全般に亘る事務を担当しています。

学生相談室 ○四二・七四六・六六七二

学生生活の中で出会う様々な事柄についての相談を担当しています。

入試課 ○四二・七四九・五五三三

フリーダイヤル ○二〇・八二一・六三三三

各種入学試験やオープンキャンパス等に関する事務を担当しています。

保健センター ○四二・七四七・九〇七二

心身の健康に関する相談を担当しています。

夢をかなえるセンター 連携教育推進課 ○四二・八二一・三・五〇八〇

地域連携活動、国際交流(留学・研修)等、正課外における学生の主体的な学びを担当しています。

就職支援課 ○四二・七四二・一七三三四

就職や進学に関する相談を担当しています。

生涯学習支援課 ○四二・七四七・九〇一七

授業外の資格取得支援や生涯学習を担当しています。

## 2018(平成30)年度課外活動奨励賞受賞者一覧

	氏名	所属	受賞理由
個人	佐藤 みのり	学芸学部 日本語日文学科 4年	1年次の時に「将来教員になることを目指し、教育現場で役立てる知識・経験を得太い」と考えてノートテイク講習会を受講し、2年次からこれまでで学生ノートテイクとして活動を継続した。 ノートテイクをする際には、事前に自宅で十分な予習をおこなって授業内容の理解に努め、15回の授業を遅刻や欠席することなく、熱心に取り組む様子が見られた。また、語学科目のノートテイクでは、どのようにしたら聴覚障がい学生が授業内容を理解できるのか、その方法について試行錯誤しながら工夫に努めた。3年次になってからはノートテイク講習会に先輩学生として参加し、受講生たちにアドバイスと呼び掛けをおこない発展に協力した。
	北村 里奈	学芸学部英語文化 コミュニケーション 学科4年	自己啓発のため学外コンテストに挑戦し、全てのコンテストで優秀な成績をおさめ、目覚ましい活躍をした。また、今年だけでなく、海外留学、産学チャレンジプログラム(2017)で企業から特別賞を頂くなど、大学4年間を通して、積極的に自己を磨き続け、今年の後援会行事で学生代表として発表した内容は、多くの方から称賛された。 受賞コンテスト 1)大学生観光まちづくりコンテスト2018 ポスターセッション優秀賞 エントリー数74チーム(37大学) 2)第8回学生観光論文コンテスト(一般財団法人日本ホテル教育センター) 最優秀賞(観光庁長官賞)
	若山 弥紀	学芸学部英語文化 コミュニケーション 学科4年	4年間の大学生生活で3ヵ国に短期留学し、ボランティア活動も積極的に参加し、多くの活動をおこなっている。英語学習意欲が高く、TOEICのスコアも学年が上がるにつれ着実に伸び、4年次では自己ベストの高得点を獲得した。さらに、研究調査に基づき英語での卒業論文を書き、卒論発表会では英語で素晴らしい発表をした。
	NGUYEN TRAN ANH THI	学芸学部英語文化 コミュニケーション 学科3年	TOEICで高得点を獲得した。空港で働くグラウンドスタッフの夢を追い掛け、TOEICの過去問題集を徹底的に取り組み、この素晴らしい結果に繋がった。英語の学習以外の、学内のイベント、ボランティア活動やコンテストも取り組んだ。 1)大学開催の織姫祭の委員長(2018年7月) 2)Kids' Book Projectの副リーダー(2018年4月～) 3)ブラジルのオリンピック選手団(女子バレーボール)の通訳ボランティア(2018年9月) 4)本大学の発想コンテスト 準グランプリ(2017年)、入賞(2018年) 5)オープンキャンパス学科企画の学生スタッフ(2018年4月～)
	平岡 美彩セーラ	学芸学部英語文化 コミュニケーション 学科3年	TOEICで高得点を獲得した。2ヵ月に満たない短期間でTOEICの成績を100点以上伸ばしたことを高く評価する。英語の学習以外にも、学内のイベントやボランティア活動も積極的に取り組んだ。 1)Kids' Book Project(2018年4月～) 2)ブラジルのオリンピック選手団(水泳チームと女子バレーボール)の通訳ボランティア(2018年8月～9月) 3)オープンキャンパス学科企画の学生スタッフ(2018年4月～)

	団体名	受賞理由
団体	観光地域活性化活動チーム	英語文化コミュニケーション学科学生の有志により2018年2月～12月に北陸地方を中心に地域貢献活動を行った。北陸では富山県、関東では茨城県、町田市においてチームメンバー8名が33日間活動を行った。活動の成果は以下となる。 1)全国エコツーリズム学生シンポジウムに応募しテーマ「消滅可能性自治体からの脱却―富山県朝日町の地域の暮らしのエコツアー化の実証実験―」が全国33大学からの応募から口頭発表枠8大学に選出され、協賛の日本航空より招待され滋賀県にて口頭発表を行った。 2)さがまちコンソーシアム「町田の魅力を再発見! ツーリズムプランコンテスト」において最優秀賞を受賞。テーマ「はなだ! なつだ! まちだ! ～ひまわり町田の大冒険～」 3)2018年度さがみ発想コンテストにおいて、チームメンバーが、ファイナリスト6名に残り入選。
	まちコン2018チーム	2018年 大学生観光まちづくりコンテスト優秀賞 大学生観光まちづくりコンテストは、大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、後援:観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、とやま観光推進機構、石川県観光連盟、福井県観光連盟、北陸広域観光推進協議会、日本観光振興協会、日本旅行業協会で開催され、今年で8回目を迎え、年々参加校が増えている大会の一つ。4つのステージ(茨城、北陸、長崎国境難島、多摩川)で行われ、90大学 234チーム、1,225名の学生の参加の中、当該チームは、多摩川ステージのポスターセッションの部に選ばれ、当日、プレゼンテーションを実施し、ポスターセッションで唯一の賞である優秀賞を受賞した。
	地域活性化研究チーム	英語文化コミュニケーション学科学生の有志により、神奈川経済同友会が実施する「神奈川産学チャレンジプログラム」に応募し、株式会社横浜銀行から提示されたテーマである「地域金融機関としてふさわしい100周年記念事業の企画・立案」に取り組んだ。 地域活性化研究チームは、横浜銀行の顧客に対し、法人から個人まで広く聞き取り調査を行い、顧客の横浜銀行に対する期待を明らかにした。さらに、全国との比較における神奈川県の女性就業率の低さや、女性のSDGsに対する認知度の低さなどを考慮し、「YWE(Yokohama Bank Women Entrepreneurs)100」というトーナメント形式の女性起業家ビジネスコンテストを提案し、最優秀賞を受賞した。
	Kids' Book Project	英語文化コミュニケーション学科とメディア情報学科のコラボレーション企画「Kids' Book Project」として、2017年より活動を開始した。Kids' Book Projectは、子どもたちの外国語学習支援を目的とし、学生たちが学科で身につけた専門性を活かし、バイリンガル電子絵本の制作やイベント企画と実施を行ってきた。電子絵本制作は、英語と日本語を中心に制作し、2018年度よりマルチリンガル化を目指し、マレー語、韓国語、スペイン語も制作している。これらの電子絵本は、日本だけでなく世界中の子どもたちが利用できるようにAppleブックストアにて(無料配信が可能な51ヶ国を対象)、9タイトルを配信している。電子絵本のダウンロード数は、昨年より14ヶ国も増え、20ヶ国となり3,000以上となった。これらの活動を通して、外国語をこれから学ぶ子どもたちが、遊びながら英語に触れる方法や、学習環境作りの大切さを学ぶことができた。プロジェクトの活動を通して、子どもの外国語教育に国内外問わず貢献している。
	『都市づくりニュース』 取材・編集チーム	神奈川県を中心に、相模原市・藤沢市・茅ヶ崎市・厚木市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市・寒川町という10市町で「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」を結成し、長年にわたって、新幹線駅を寒川町倉見地区に設置する運動を行っているが、そのための広報パンフレット「都市づくりニュース」を定期的に刊行し、今年度末に刊行する号で50号を迎える。これを期に、あらためて加盟10市町の魅力を広く伝え、新駅設置の気運を高めるために、特別号を刊行することとなり、女子学生の視点と感性を活かし、特に若い人々にもアピールする冊子とするために、相模女子大学に制作担当の依頼があった。メディア情報学科の学生が持つ情報誌制作の専門性を活かす形で学生主体の活動がスタートし、10市町への取材から始め、原稿作成、編集、紙面作成までをおこなった。神奈川県内の広域にわたる公的な事業で、本学の知名度やイメージの向上にも大きく貢献する業績であり、地域連携を一つの柱とする本学の基本姿勢にも非常によく叶った活動である。
チーム西山	チーム西山(健康栄養学科3年生の3名)は、第15回神奈川産学チャレンジプログラムにおいて、ウエルシア薬局株式会社より提示された「ウエルシア薬局を一兆円企業に押し上げる新サービスの提案」というテーマで優秀賞を受賞。 チームメンバーは、実験実習が多く時間割が過密な中で、テーマに則したプレゼンを行うために夕方以降に多くの時間を費やし、制作に取り組んだ。また、情報技術やプレゼンテーション能力の育成に特化した学部・学科、ゼミナールの課題として参加している大学がひしめく中で、栄養系という立場で受賞できたことは、素晴らしいことである。	

### 二〇一九年度学年暦(大学)

春学期We b履修科目登録期間(在学生)	三月二六日(火)～二八日(木)
新入生オリエンテーション・春学期We b履修科目登録指導・登録期間(新入生)	四月一日(日)～三日(水)五日(金)
健康診断(在学生)	四月二日(火)～三日(水)五日(金)
入学式	四月四日(金)
健康診断(新入生)	四月五日(金)
春学期We b履修科目確認日	四月八日(日)
春学期履修科目優先追加登録	四月九日(火)
クラス会(新入生)	四月十日(水)
春学期履修開始	四月十一日(木)
春学期履修科目追加・訂正期間	四月十八日(木)～十九日(金)
祝日授業	五月六日(木) 振替休日
祝日授業	五月八日(土) 祝日海の日
祝日授業	五月十五日(土) 祝日海の日
春学期最終授業週および春学期末定期試験期間	七月二五日(木)～三一日(水)
春学期授業終了	七月三一日(水)
春学期末定期試験期間	八月一日(木)～二日(金)
レポート提出日	八月一日(木)～二日(金)
夏季休業	八月六日(火)～九日(金)
春学期成績発表	八月九日(日)
春学期We b履修科目登録期間	九月九日(月)～十日(火)
春学期末卒業式	九月十三日(金)
秋学期We b履修科目確認日	九月十七日(金)
秋学期履修科目優先追加登録	九月十八日(土)
秋学期履修開始	九月二十日(日)
祝日授業	九月二十三日(水) 祝日秋分の日
秋学期履修科目追加・訂正期間	九月二六日(木)～二七日(金)
祝日授業	十月十四日(月) 祝日体育の日
創立記念日	十月十八日(金)
振替授業日(千円二百分)	十月十九日(土)
相生祭(二日準備五日片付け)	十一月一日(土)～五日(火)
秋学期前半授業終了	十一月四日(木)
冬季休業	十一月五日(金)～一月八日(日)
補講日	一月九日(木)～十日(金)
授業なし日	一月十四日(火)
秋学期後半授業開始	一月十五日(水)
大学入試センター試験	一月十八日(土)
秋学期最終授業週および秋学期末定期試験期間	一月二二日(水)～二八日(火)
秋学期授業終了	一月二八日(火)
秋学期末定期試験期間	一月二九日(水)～二日(土)
レポート提出日	一月二九日(水)～二日(土)
卒業年次生成績発表	二月十八日(火)
卒業式	三月十三日(金)
秋学期成績発表表(在学生オリエンテーション)	三月七日(日)～十七日(火)
春学期We b履修科目登録期間(在学生)	三月二五日(水)～七日(金)

### 二〇一九年度学年暦(短期大学部)

春学期We b履修科目登録期間(在学生)	三月二六日(火)～二八日(木)
新入生オリエンテーション・春学期We b履修科目登録指導・登録期間(新入生)	四月一日(日)～三日(水)五日(金)
健康診断(在学生)	四月二日(火)～三日(水)五日(金)
入学式	四月四日(金)
健康診断(新入生)	四月五日(金)
春学期We b履修科目確認日	四月八日(日)
春学期履修科目優先追加登録	四月九日(火)
クラス会(新入生)	四月十日(水)
春学期履修開始	四月十一日(木)
春学期履修科目追加・訂正期間	四月十八日(木)～十九日(金)
祝日授業	五月六日(木) 振替休日
祝日授業	五月八日(土) 祝日海の日
祝日授業	五月十五日(土) 祝日海の日
春学期最終授業週および春学期末定期試験期間	七月二五日(木)～三一日(水)
春学期授業終了	七月三一日(水)
春学期末定期試験期間	八月一日(木)～二日(金)
レポート提出日	八月一日(木)～二日(金)
夏季休業	八月六日(火)～九日(金)
春学期成績発表	八月九日(日)
春学期We b履修科目登録期間	九月九日(月)～十日(火)
春学期末卒業式	九月十三日(金)
秋学期We b履修科目確認日	九月十七日(金)
秋学期履修科目優先追加登録	九月十八日(土)
秋学期履修開始	九月二十日(日)
祝日授業	九月二十三日(水) 祝日秋分の日
秋学期履修科目追加・訂正期間	九月二六日(木)～二七日(金)
祝日授業	十月十四日(月) 祝日体育の日
創立記念日	十月十八日(金)
振替授業日(千円二百分)	十月十九日(土)
相生祭(二日準備五日片付け)	十一月一日(土)～五日(火)
秋学期前半授業終了	十一月四日(木)
冬季休業	十一月五日(金)～一月八日(日)
補講日	一月九日(木)～十日(金)
授業なし日	一月十四日(火)
秋学期後半授業開始	一月十五日(水)
大学入試センター試験	一月十八日(土)
秋学期最終授業週および秋学期末定期試験期間	一月二二日(水)～二八日(火)
秋学期授業終了	一月二八日(火)
秋学期末定期試験期間	一月二九日(水)～二日(土)
レポート提出日	一月二九日(水)～二日(土)
卒業年次生成績発表	二月十八日(火)
卒業式	三月十三日(金)
秋学期成績発表表(在学生オリエンテーション)	三月七日(日)～十七日(火)
春学期We b履修科目登録期間(在学生)	三月二五日(水)～七日(金)

## 二〇一八年度

## 科学研究費助成事業 採択状況

### 《基盤研究B》

(分担者) 狩野 雄 教授	漢魏六朝期楽府詩の総合的研究	【大学】
(分担者) 下田 章平 講師	近代東アジアにおける「書壇」形成の地域比較研究	【大学】
(分担者) 黒岡 尚徳 教授	免疫応答の多様性を演出する活性化B細胞分化制御機構―ミトコンドリアとB細胞分化―	【短大】

### 《基盤研究C》

南 明日香 教授	ジャボニスム以後の浮世絵評論の比較研究―永井荷風と小島烏水を中心に―	【大学】
山口 徹 教授	帝室博物館総長時代の森鷗外に関する研究―博物館行政改革の学術的基盤とその形成―	【大学】
九里 徳泰 教授	日本における女性社会進出と企業活動―女性社会進出指標と企業パフォーマンスを中心に―	【大学】
中村 ジェニス 准教授	Grown children of foreign parents' experiences of minority language loss in Japan	【大学】
渡辺 幸倫 教授	越境する結婚移住者の教育観に関する基礎調査―国際結婚した在外日本人父親の言説分析	【大学】
岡部 芳広 教授	石垣島台湾系住民の音楽行動―台湾、石垣島社会との関係を中心に―	【大学】
加藤 由樹 准教授	ケラーニングの感情面支援のためのコミュニケーション過程の感情伝達に関する基礎研究	【大学】
中西 泰子 准教授	世代間ケアに関する意識変化の解明:複数データの二次分析に基づく検証	【大学】
浮ヶ谷 幸代 教授	精神医療と宗教の連携による「地域ケア」の創出についての人類的学的研究	【大学】
後藤 和宏 准教授	情報希求パラダイムを用いたメタ認知の比較認知研究	【大学】
奥村 裕司 教授	宿主解毒を標的分子とした新規治療薬の開発―高病原性ウイルス感染症の新たな制御法	【大学】

### 《挑戦的萌芽研究》

(分担者) 榎本 ヒカル 教授	中学校家庭科住生活領域における情報通信技術(ICT)を含んだ教材開発とその評価	【大学】
(分担者) 久木留 柳史 香絵 准教授	ジュニアアスリートのための栄養教育プログラムの検証と開発	【大学】

### 《若手研究B》

宮本 節子 准教授	(分担者) 渡辺 幸倫 教授	【大学】
(分担者) 渡辺 幸倫 教授	学習対象としての周縁的英語論の試み:タイ人訪日旅行経験に基づくタイ英語の教材化	【大学】
久保 康彦 教授	(分担者) 渡辺 幸倫 教授	【大学】
(分担者) 渡辺 幸倫 教授	「買い物弱者」としての在外子育て家庭の研究―国内流通課題への適応可能性	【大学】
(分担者) 加藤 由樹 准教授	グローバル人材に必要な能力の構成要素の分析とそれに基づく評価ツール作成の試み	【大学】

### 《若手研究B》

(分担者) 岩下 朋世 准教授	「2.5次元文化」における参加型文化による嗜好共同構築に関する研究	【大学】
中村 ジェニス 准教授	Diligent discourse between English-speaking parents and their Japanese-speaking children	【大学】
山本 匡毅 准教授	生産拡大期における航空機産業のサプライチェーンに関する集積論的研究	【大学】
池下 花恵 准教授	発達性読み書き障害児のための英語学習モデルの開発	【大学】

### 《研究成果公開促進費(データベース)》

今井 さやか 准教授	津波デジタルライブラリ	【大学】
------------	-------------	------

### 《成育疾患克服等次世代育成基盤》

(分担者) 堤 ちはる 教授	幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイドの開発に関する研究	【大学】
----------------	------------------------------------	------